

高齢者を地域で見守るための第一歩 ～サロン立ち上げ後の潜在的な利用者を探る活動から～

取り組み内容のポイント

- ・高齢者の交流の場に参加して欲しい、潜在的な高齢者を探る。
- ・地域包括支援センターを知ってもらい、地域の相談窓口として、相談しやすい関係作りをする。

神奈川県 社会福祉法人

中心会

〒243-0431 神奈川県海老名市上今泉4-8-28
TEL: 046-231-5888 FAX: 046-231-6396

◆法人設立年

昭和28年

◆法人実施事業

- ①経営施設数合計：5施設
- ②経営施設・事業【種別毎の数】：
特別養護老人ホーム…4、訪問介護…1、短期入所…3、通所介護…3、養護老人ホーム…1、養護短期入所…1、訪問入浴…1、居宅介護支援…2、地域包括…2、児童養護…1

◆法人の理念・経営方針

私たちは、私たちが活動する地域社会において、自分や自分の大切な人が抱える心身の障害や生活環境上の問題によって、様々な『不自由』『生きにくさ』を現に経験し、または経験するだろうリスクを有する人々に対して、適切な専門性の担保された養護、介護、及びこれに関連する諸サービスを提供することを通じて、誰もが自分の存在に誇りを持ち、生きる喜びを享受するとともに、自分の家族や隣人の存在を素直に喜ぶことができる社会づくりに貢献します。

◆取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

- ①定款記載の有無：記載していない
- ②事業報告・計画への記載：記載している

◆取り組みを実施している施設の概要

【施設名】海老名北地域包括支援センター
【施設種別及び利用定員】 地域包括支援センター

◆活動内容

- ◇活動開始年：平成22年4月
- ◇活動の対象者：地域の高齢者
- ◇活動の頻度・時間：
個別訪問（281世帯）月30件、1人あたり月10件

◆活動実施の背景、実施にいたった理由

二次予防事業修了者の交流の場として立ち上げた「和（なごみ）倶楽部」「縁（ゆかり）倶楽部」を実施していく中で、潜在的な対象者がいるはずだという思いがあった。そこで、地域の高齢者の現状把握をする為に独居・高齢者世帯を対象に戸別訪問を行った。単に訪問するだけでなく、地域包括支援センターの周知度を計り、相談しやすい関係作りをしたいと考えた。

◆実施内容

地域包括支援センターのPRとして、一部地区の高齢者独居・高齢者世帯の戸別訪問を行い、現状把握と周知度を調べた。

地域包括支援センターにあるケースファイル情報と、民生委員が把握している情報から281件を選定。包括職員3名（1人あたり月10件）が9ヶ月かけて訪問した。突然の来訪者を不審に思うことを予想し、地域に顔が広い民生委員と一緒に訪問した。訪問時、地域包括支援センターの活動内容と、担当職員の写真つき自己PRを載せたチラシを配布した。

また、「和（なごみ）倶楽部」「縁（ゆかり）倶楽部」の紹介を行い、参加を促した。

◆活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

予想通り周知度は37%と低かったが、訪問を繰り返すことで86%まで上がった。繰り返し訪問したにもかかわらず、訪問したことを覚えていない方や、明らかに何らかのサービスの必要性があるが利用をしていない方などフォローが必要な方が1.7%おり、見守り訪問を行っている。訪問したことにより何らかの相談に繋がったケースが全体の8%あり、地域の相談窓口としての役割が確立しつつある。〈表〉

民生委員との訪問により、地域の特性や近所の様子などの情報を得ることができ、地域全体を把握することができた。民生委員も知らなかったケースもあり、民生委員からも「またやって欲しい」という声が上がった。何より民生委員と共

同作業したことにより信頼関係が生まれ、協力体制が整った。

◆今後の展開

今回行った戸別訪問は担当地区の一部であり、今後は全地区を対象に行う予定である。地域の高齢者の現状把握の後、見守り体制の構築へと移行していく為、商店や病院など住民の利用頻度の高い機関への関係作りを行う予定である。東日本大震災後、地域のつながりや絆の大切さが見直されている。災害に強い地域、子供から高齢者まで見守り体制の整った地域を目指して、活動を広げていきたい。

◆主な経費や財源及び人員等

- ・取り組みに係わった職員数 3名
(職種等：主任ケアマネジャー・保健師・社会福祉士)
- ・取り組みを実施している施設の事業規模
(平成22年度決算の事業活動収入) 543,508千円
※法人全体の事業規模(同上) 1,867,384千円

海老名北地域包括支援センター

「地域包括支援センターって何？」
海老名市内に8箇所設置され、地域の高齢者又はそのご家族の方の相談をお伺いしております。私達の担当地域は上今泉・下今泉・上郷です。

「どんなことをしているの？」

- ①介護予防に関するお手伝い
・介護保険を使いやすい。(介護保険の申請)
・足腰が弱くならないように、予防したい
・要支援1、2の方の担当 など
- ②色々な相談
・入所する施設を探したい。
・介護保険のお金がかさみ、生活が困難である。
・近所に住む一人暮らしの高齢者が心配 など
- ③権利を守る
・お金の管理が1人では不安
・訪問販売の被害の防止
・虐待の防止や早期発見 など
- ④包括的・継続的なお手伝い
・暮らしやすい地域づくりのために、医療機関や行政、その他の機関との連携作り
・ケアマネジャーへの支援 など

「どんな人がやっているの？」
保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャーの3名体制で行っております。それぞれの専門分野を持っている職員が連携してご相談をお伺います。

「その他にも・・・サロンを開いています！」
まだまだ介護は必要ないけれど、家にいることが多い友達の家に出かけることが少ないなど、外出の機会が少ない方が参加できるような倶楽部を開いています。
「和(なごみ)」...上今泉地区、「縁(ゆかり)」...下今泉・上郷地区
2ヶ所で手袋をしり履み物をしたり、お喋りしながら楽しくやっておりますので、お気軽にご連絡下さい。

海老名北地域包括支援センター
(えびな北高齢者施設内)
046(231)6061
内田・大池・川村 まで

地域包括支援センターの業務内容紹介(表)

自己紹介
～プロフィール第二弾～

PR前半では、「ついでに教えて」「ちょっと困っていた」と気軽に相談して下さる方が約一割いらっしゃいました。介護、健康、食事、通院と困りごとの内容は様々でした。
中には、私たちの訪問がきっかけとなり、海老名北のボランティアに来て下さる方も！(ほんと、ありがたいことです。)

大池 恵美子(主任ケアマネジャー)
この写真を見て「実物の方がいいわ～」と
言っただけの方のお声を素直に取り、少々
いい気になってます
好きな食べ物：そば(細い方が好き)、ふぐ
好きな言葉：七転び八起き(立ち直りが早い!美)
好きな色：空の青色

内田 みどり(保健師)
3人の中で、唯一 髪の毛が短い私。
外見だけでも、もうちょっと女らしく
なりたいたいで、髪を伸ばそうと思ってます。
好きな食べ物：ピーマン(大嫌いでしたが、最近
食べられるようになり、好物に*)
好きな動物：犬(ゴキブリ/シロアリを倒してました)
好きな色：オレンジ

川村 由香(社会福祉士)
いろいろな方に PR チラシを読んでもらって
いるようで嬉しいかぎりです。
少しでも地域包括支援センターを皆様
の身近に感じていただければと思います(´▽`)
好きな食べ物：らーめん(特に味噌)、お寿司
好きな動物：ネコ(飼いたい...)
好きな色：赤

地域包括支援センターの職員紹介(裏)

周知度					
総数		包括の存在			
独居	高齢者世帯	1回目		2回目	
	281	○	103	37 %	
134	147	×	178	63 %	
	計 281			○	140
				×	36
				計 176 99 %	
				* 訪問拒否2件	

注)2回目の○の%=
 $\frac{1回目の○+2回目の○}{1回目の訪問件数}$

表 1回目の訪問で包括を知らなかった方へ2回目の訪問を行って周知度を上げた

相談に繋がったケース		
世帯種別	内容	
1 独居	えびな北のボランティアにつながる。	
2 高齢者世帯	妻から、介保の相談。	
3 高齢者世帯	社協の送迎ボラの相談。	
4 独居	緊通の相談。	
5 高齢者世帯	配食の相談。(妻が入院した為)	
6 独居	介保認定についての相談。	
7 高齢者世帯	友人の介保認定についての相談。	
8 高齢者世帯	妻の健康相談。	
9 高齢者世帯	チラシを見てTELくれる。介保申請に結びつく。	
10 独居	来荘し、傾聴ボラを申し込む。	
11 高齢者世帯	介保申請。	
12 高齢者世帯	介保申請。	
13 独居	緊通の相談。	
14 高齢者世帯	健康に関する相談。	
15 独居	ヘルパーについての相談。	
16 高齢者世帯	夫についての相談。	
17 高齢者世帯	介保の相談。	
18 独居	介保の相談。	
19 独居	病気に関する相談。	
20 独居	退院後の相談。	
21 独居	緊通の相談。	
22 独居	後日、民生委員が訪問し認知症の疑惑あり。	
23 高齢者世帯	後日、オレオレ詐欺の報告をしてくれた。	

訪問によって相談に繋がったそれぞれの相談内容